

## 第 29 回廃炉・汚染水対策現地調整会議の概要

### 1. 日程

日時:平成 28 年 1 月 25 日(月) 10:20~12:30

場所:いわきワシントンホテル 3 階「アゼリアC」

### 2. メンバー

政府: (議長):高木原子力災害現地対策本部長(経済産業副大臣)

後藤原子力災害現地対策副本部長

復興庁:白井次長(福島復興局)

文部科学省:村山原子力課廃炉技術開発企画官

農林水産省東北農政局:古里主任農政推進官

農林水産省水産庁:竹葉研究指導課長

国土交通省:河川環境課 金縄企画専門官

環境省:水環境課 加藤課長補佐

廃炉・汚染水対策チーム:田中事務局長補佐、平井事務局長補佐、

尾澤事務局長補佐、湯本事務局総括、

江口対策官、豊口企画官、金井補佐

廃炉・汚染水対策現地事務所:生越所長、木野参事官、岡山対策官

原子力損害賠償・廃炉等支援機構:松永現地事務所長

東京電力:石崎福島復興本社代表、新妻福島復興本社副代表、

増田プレジデント、有馬バイスプレジデント、

磯貝福島第一原子力発電所プロジェクト統括管理センター所長

福島県(オブザーバー):玉根政策監

規制当局 原子力規制庁:山田審議官、持丸総括調整官

厚生労働省 福島労働局:久富労働基準部長、安井労働基準監督官

### 3. 結果概要

#### (1) 議長冒頭挨拶

○本日も、御多忙の中、お集まりいただき感謝申し上げます。

○昨年は、タンク内の汚染水の浄化处理、海水配管トレンチからの汚染水の除去、さらには、サブドレンの稼働開始、海側遮水壁の閉合、1号機格納容器へのロボットの投入、大型休憩所の設置、1号機建屋カバーの解体など、様々な対策が着実に進捗してきましたが、

本年も、陸側遮水壁の稼働、フェーシングなどといった各対策を確実に推進し、さらなる前進を図りたいと思います。

○また、安全面についても、2015年は、11月時点ですが前年との比較で、災害発生件数が半分近くまで減少しており、職場環境が確実に改善されていることを示しています。これは、事故や事象の発生に対して一つ一つ丁寧に原因を分析し再発防止対策を講じてきた努力の現れです。引き続き、このような地道な努力を進めてまいります。

○そのためには、協力企業の尽力が不可欠であるため、この士気向上・功績の周知等のため、中長期ロードマップの目標工程を実現していく際、工期や作業安全、人材育成等に貢献した協力企業による作業チームに対し、4月に開催される福島第一廃炉国際フォーラムにおいて、感謝状を出すことを考えております。

○特に今回は、元請企業だけでなく、普段目立ちほしないものの、廃炉・汚染水対策に貢献している下請企業にも光を当て、元請と下請が協力し、作業を成し遂げたチームを中心に感謝状を出したいと考えております。

○今回は、海側遮水壁の閉合後のサブドレンの稼働状況や排水実績や、タンク建設の進捗状況について、報告を受けたいと思います。

○その他にも、様々な対策が進捗しているため、それらの進捗状況についても、報告を受けたいと思います。

○本日も、活発な御意見、徹底した議論をよろしくお願いいたします。

## (2) 会議概要 (主な指摘事項)

### **議題1**

<資料1-1>

➤ 地下水ドレンからくみ上げた地下水を建屋に移送することにより、汚染水の量が増加した。今後の水処理設備の扱いや移送量の計画、さらにはタンクの建設をしっかりと行って欲しい。

### **議題4**

<資料1-4>

➤ 警報確認後から市町村への連絡まで、1時間以上を要した。飛散防止と速やかな情報提供を徹底して欲しい。さらには、今回時間を要した原因を精査し、対策を講じて欲しい。

➤ ダストモニタは敷地境界に設置してあり、敷地外の道路のダストが舞い上がったことにより警報が鳴ったと説明しているが、その時の敷地内の状況の詳細も示して欲しい。また、モニタの設置に関して、検知器の高さの設定など今後の方針を検討すること。

## 議題6, 7

### <資料2>

- ▶ 3号機からのダスト飛散については、問題になったこともあり、地元住民の関心が非常に高いため、飛散防止対策を引き続き徹底すること。
- ▶ 雑固体廃棄物焼却設備のホット試験の開始に当たっては、県の廃炉監視協議会も確認するが、その際は稼働が遅れないよう調整する。
- ▶ 陸側遮水壁は、建屋への流入量とくみ上げ移送量の両方にとって効果が大きく影響を及ぼす。早期の凍結開始に向け、引き続き尽力して欲しい。
- ▶ 魚対策について、漁業者の意見を聞き、対策を継続して欲しい。また、K排水路の付け替え工事、サブドレンの運用目標の遵守など、引き続き漁業者への説明を実施して欲しい。

### (3) 次回以降の日程

○次回は2月開催。詳細の日程は決定次第、事務方より連絡。

(以上)